

# 常民大学運動50年・後藤総一郎没後20年記念 第34回 常民大学合同研究会

## 開催のお知らせ

常民大学は、遠山出身の後藤総一郎先生の主導により、「生活者の学び」の場として全国各地に設立され、活動を続けてきました。今年は、その後藤先生が2003年に志半ばで亡くなられてから20年目にあたります。後藤先生の出身地であり、常民大学の始まりの地である“遠山”で合同研究会を開催します。

今回の合同研究会は、第1に激変する国際情勢と人口減少と高齢化の進行や劣化する社会のなかで、その実情と農地を守りながら豊かな地域を創り出す活動について学びます。第2に、各地の常民大学から地域の民俗を記録する活動や生活者の学びの果実を報告します。そして、今日の「普遍的に共通する課題」を深め、「感性豊かに人間らしく凛として生きる」ための歴史意識の形成を探ります。



令和5年11月4日（土） 午後12時00分～4時00分

### 研究主題 「常民大学運動の果実」

①記念講演会「現代社会と村の精神」講師 内山 節氏（哲学者）

②研究発表 常民大学会員（3名） ※詳細は裏面をご覧ください。

会 場：南信濃地域交流センター（南信濃自治振興センター）

参加費：1,000円

主 催：・常民大学合同研究会運営委員会・遠山常民大学（長野県）  
・飯田柳田国男研究会（長野県）・遠州常民文化談話会（静岡県）  
・於波良岐常民学舎（群馬県）・鎌倉柳田学舎（神奈川県）  
・立川柳田国男を読む会（東京都）

後 援：飯田市・飯田市教育委員会、南信濃公民館・信濃毎日新聞社・中日新聞社・南信州新聞社

その 他：申し込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせ先：櫻井弘人（遠山常民大学）090-7183-8195（携帯） sakurai@cream.plala.or.jp

## 第34回常民大学合同研究会（11月4日） 日程

11:40 受付開始 12:00 開会

12:20 記念講演会

「現代社会と村の精神」 講師 内山 節 氏（哲学者）

14:00 研究発表（各30分）

①「『農と水の民俗』<sup>\*1</sup>と常民」 中山正典（遠州常民文化談話会）

\*1 中山正典『農と水の民俗』 昭和堂 2023年

②「常民大学共同研究の成果と「柳田國男年譜」<sup>\*2</sup>」

小田富英（常民大学運営委員）

\*2 小田富英「柳田國男年譜」『柳田國男全集』別巻1 筑摩書房 2019年

③「『遠山霜月祭の研究』<sup>\*3</sup>－後藤先生・遠山常民大学から自著へー」

櫻井弘人（遠山常民大学）

\*3 櫻井弘人『遠山霜月祭の研究』 岩田書院 2022年

16:00 閉会

### 記念講演会 講師 内山 節 先生

哲学者。1950年、東京生まれ。群馬県上野村と東京を往復しながら暮らす。著書に『新しい共同体の思想とは』（農山漁村文化協会、2021）、『「里」という思想』（新潮選書、2005）、『文明の災禍』（新潮選書、2011）、『自然の奥の神々 哲学者と共に考える環境問題』（宝島社、2010）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったか』（講談社現代新書、2007）など。

### ●常民大学運動とは

常民大学運動は、戦後思想が曲がり角を迎えて学問のあり方が大きく問われていた最中、1972年に後藤総一郎先生が立ち上げた柳田国男の思想と学問を学ぶ研究会から始まります。

同じ時期に5年がかりで編纂された『南信濃村史 遠山』の刊行を契機に、1977年秋、先生の生まれ故郷で遠山常民大学が誕生しました。柳田学と「在地の思想」を核に据え、地域にこだわり、生活者としての自己認識と普遍性の獲得を目的とした、身銭主義と自主運営を原則とした「生活者の学び」です。

常民大学は全国の地に広がり、1983年には6つの常民大学で合同研究会を遠山の地で開催し、やがて10大学にまで発展しました。今回の合同研究会は34回目を迎えます。

#### 後藤総一郎先生（1933年12月5日 - 2003年1月12日）

日本の思想史学者。現飯田市南信濃出身。1952年現長野県飯田高等学校卒業。東京教育大学講師、明治大学政治経済学部教授。1996-1999年に図書館長。2000 - 2023年1月学校法人明治大学理事。1990年-2003年1月柳田國男記念伊那民俗学研究所初代所長。1995年-2003年1月遠野物語研究所初代所長。

橋川文三に師事、柳田國男研究を軸に「柳田國男研究会」、全国各地の「常民大学」を主宰し、『柳田國男全集』（筑摩書房）編集委員を務めた。著書に『柳田國男伝』（監修）・『遠山物語 - ムラの思想史』など多数。